

位相差を有する面内二軸繰返し応力を受ける表面亀裂の疲労亀裂成長挙動評価

森下, 瑞生

<https://hdl.handle.net/2324/4110472>

出版情報 : Kyushu University, 2020, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏 名	森下 瑞生
論 文 名	位相差を有する面内二軸繰返し応力を受ける表面亀裂の疲労亀裂成長挙動評価
論文調査委員	主 査 九州大学 教授 後藤 浩二 副 査 九州大学 教授 園田 佳巨 副 査 九州大学 教授 野口 博司 副 査 九州大学 教授 柳原 大輔

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は、位相差を有する面内二軸繰返し応力負荷条件下における疲労表面亀裂の成長形態に関する単軸負荷問題との類似性を確認するとともに成長履歴推定手法を提案した研究であり、疲労亀裂伝播挙動評価手法に関する重要な知見を得たものとして、価値ある業績であると認める。以上の結果、博士（工学）の学位に値すると認める。